

ホーム > [市民レポーター](#) > **市民活動グループを訪ねて VOL.1『水曜おはなし会』**

こんにちは。
新米市民記者のムッシュ猫ノ宮です。
これから市民記者として活動しますが、少々筆不精ですのでお許しを願いたく思います。



2008年9月の南部地域センターまつりの人形劇

さて私が今回お邪魔させていただきましたのは、場所は市内の南部地域センター内の図書館です。
あれは確か2008年の9月、南部地域センターまつりで素敵な人形劇を見たのがきっかけで、いつかお邪魔させていただきたいと思っていました。
その人形劇を見た時、懐かしくて暖かな優しい気持ちに包まれたのを思い出しました。

ようやく念願が叶って、6月24日、代表の安宅さんにお逢いすることができました。

●水曜おはなし会は、いつから活動しているのですか

そうですねえ・・・もう30年以上この活動をしています。当時は上の原に小さな図書館しかありませんでした。そこで地域のお母さんたちが子どもに良い本をとどけたいと文庫活動が盛んになりました。それと並行して市にも働きかけをいたしまして、市がひばりヶ丘団地の公団事務所を貸りてひばりヶ丘図書館が開館しました。それ以来、おはなし会のお母さんたちと司書の方と一緒に活動を続けています。その後、複合施設として南部地域センター内に図書館が開館し、念願のおはなしの部屋（通称：おはなしの森）が出来ました。



「トマトさん」の絵本、なんとって絵が最高！

●どんな人たちを対象にしていますか

午前の11時からの部は、地域の0、1、2歳の子もたちとお母さん、午後3時からの部は幼稚園の子もたち、また、3時半からは小学生です。地域といっても西東京市の市境なので、西東京市の方もたくさん来てくださいます。

ところで、絵本って、大人でも、誰かに読んでもらおうと、とても楽しいものですね。

・・・はい、今日の「とまとさん」の絵本は最高でした！！

●この活動を続けることができたのは

若いお母さんたちと小さな子どもさんたちが通ってきてくださり、手遊び、わらべうたなどで遊ぶことで、遊ばせ方、お子さんとの関わり方がよくわからないお母さんの子育てのお手伝いになることができたなら・・・という思いがまずは第一ですが、何より読み聞かせをはじめると、子どもたちが楽しそうに目を輝かせて自分を見てくれる瞬間、とてもやり甲斐を感じます。また、自分にとっても「ここは自分の居場所なんだな」という気がします。



本日の絵本・・・大人だって楽しめちゃう♪

・・・なるほど♪

水曜おはなし会は、子どもだけのものではなく、大人も含めた『地域みんな』のための会なのです。

ちなみに、水曜おはなし会の活動は・・・
小学校や児童館などにも出かけています。
第一火曜日には当番を決めたり絵本を選んだり、勉強会などいろいろな話し合いをしています。



小学生のお友達もぞくぞく集まってきます。

現在スタッフは約8名。ボランティアスタッフはまだまだ足りないので、皆様もお気軽にお立ち寄りくださいとのことです。
最近、定年退職後のお父さんが見学にきてくださいました。もちろんお父さんスタッフも大歓迎です。

7月22日（水）、イベント開催です！！
みなさん是非お越しくださいね。
ジェンカ
パネルシアター（くろねこかあさん）
人形劇（だるまちゃん とんぐちゃん）
その他、楽しい演目いっぱいですよ。

取材後記・・・なんと30年以上の歴史のある市民活動グループ。好きこそものの上手なりと言うものの、生半可な気持ちではこの長い年月続けていくことはできないだろう。
この長期に渡る草の根運動の成果は・・・まさに、このおはなし会を聞いて育ったお母さんがお子さんを連れてきてくださること、南部の建て替えで、この素敵なおはなしルームをいただいたこと。

このような愛情いっぱいの活動が、後世を担う子どもたちにどんどんバトンタッチで受け渡されていきますように・・・と願いつつ南部地域センターを後にしました。